

北海道で

インターハイ

高校生最大級

スポーツの祭典 北の大地で!

翔び立て若き翼 北海道総体 2023

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が7月から8月にかけて、36年ぶりに北海道で開催されました。コロナ禍で中止や観覧制限となった年もありましたが、今回は4年ぶりの通常開催。秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと、札幌市で開かれた総合開会式で鈴木知事は、「多くの人々に勇気と感動を与えることを願っています」と挨拶。道内19市町で28競技が行われ、鈴木知事は少林寺拳法、バスケットボール、アーチェリーの試合を観戦し、熱い声援を送りました。

「アクティビティ」「自然」「異文化体験」

体験旅行のATWS、北海道でアジア初開催!

体験型観光の国際イベント「アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2023」が9月11日から、アジアで初めて北海道で開催されます。

アドベンチャートラベルとは、「アクティビティ」「自然」「異文化体験」の要素を二つ以上組み合わせる旅行形態で、欧米では富裕層を中心に人気があり、市場規模は70兆円を超えるとも言われています。観光客一人当たりの消費額が大きく、地域への経済波及効果も高いとされています。新しい旅のかたちを北海道に定着させることで、本道観光の復活と飛躍に期待が集まります。

まめちゃん

日記

知事が手作りケーキに挑戦

フォロワー10万人超

動画150万回再生

まめの誕生日

鈴木知事の愛犬「まめちゃん」10歳の誕生日に、知事が犬用ケーキを手作り。インスタの動画の中で知事が一生懸命ケーキを作る姿とそれを見守るまめちゃんとのやりとりに、「おめでとう!」「知事の手作りなんていいなあ」と多くの声が寄せられました。いつもとは違うエプロン姿の知事と、わくわくしているまめちゃんがかわいらしかったです。

全国豊かな海づくり大会

38年ぶりに北海道で開催!

第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会が9月16、17日、天皇后両陛下の御臨席のもと、厚岸町と釧路市で開催されます。本道での開催は1985年の湧別町以来2回目。水産資源の保護と環境保全の大切さを訴え、漁業の振興と発展を図る国民的行事です。本道の自然や文化、新鮮な農水産物などの魅力を鈴木知事がしっかりと全国に伝えます。

似鳥 昭雄会長

平素より当会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

皆様のご尽力のおかげで、鈴木知事は2期目の任期をスタートさせました。北海道のポテンシャルを最大限発揮し、北海道の価値を押し上げようと果敢に挑み続ける鈴木知事を今後も精いっぱい応援してまいります。皆様におかれましても、なお一層の応援をよろしくお願いします。

140文字でいち早く最新の情報をお届けします

鈴木知事の活動をじっくり読みたい方はこちらを!

北海道大好きな鈴木知事の日常を写真で掲載しています

鈴木直道レポート 8号

〒060-0032 札幌市中央区北2条東1丁目2-10

TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080

令和5年9月発行

鈴木直道

Report Vol.8

2023 AUTUMN

[活力あふれる北海道の未来を実現する会会報]

鈴木直道レポート 8号

全道各地を駆け回り

北海道の価値を押し上げる

ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。

国内外の人の流れがコロナ禍前の水準に戻りはじめました。手つかずの大自然にふれ、おいしい食べ物、魅力ある観光スポットにあふれ、様々なイベントが盛りだくさんの北海道にも多くの観光客が訪れ、各地でにぎわいをみせています。一方で、物価高騰による暮らしへの影響が長期化しているほか、エネルギーや環境問題、経済対策、人手不足、少子化対策などの課題も山積しています。

「地域が抱える課題をチャンスに変えたい」。その思いを胸に、2期日も積極的に道内各地にお伺いいたします。皆様お一人おひとりからお聞きした声を道政にしっかりと反映し、北海道の価値をさらに押し上げるべく努めてまいります。

今後とも、皆様のお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

プロフィール/1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に就任

ミニ政策紹介「こどもファスト・トラック」

妊娠中や子ども連れの方が長時間窓口で並ぶことがないよう、優先窓口を設置する取り組み「こどもファスト・トラック」が137の道立施設で始まりました。今後、すべての道立施設で優先駐車場や授乳室などの確保も進めていく考えです。

また、子育て世帯の負担軽減策である、「北海道お米・牛乳子育て応援事業」についても、多くの申請をいただいています。オール北海道で子育てを応援する社会づくりをさらに加速してまいります。

◎「こどもファスト・トラック」が始まったおもな道立施設

- ・道庁本庁舎
- ・道立病院、診療所、保健所
- ・道立美術館
- ・北海道開拓の村(札幌市)
- ・道民の森(当別町、月形町)
- ・オホーツク流氷科学センター(紋別市)
- ・北方民族博物館(網走市)
- ・北方四島交流センター(根室市)

地域探訪 鈴木直道の179市町村、おじゃまします！



島の暮らしの魅力を見

利尻富士町、利尻町、礼文町

道内各地で皆様の取り組みについて聞く「なほみちカフェ」。2期目スタート後の最初の訪問地として6月にお伺いしたのは、知事就任直後にも訪れた利尻・礼文島です。4年前を思い出し、身の引き締まる思いで青空に浮かぶ利尻富士を眺めました。

利尻島では昆布干し体験や日本最北のウイスキー蒸留所を見学。漁師歴67年、引退後は体験観光スタッフを務める松原光男さんから、ウニ漁の手ほどきも受けました。また、礼文島では礼文高校の生徒、卒業生の皆様から将来への熱い思いをお聞きしました。「ここでしか体験できない島の魅力」を改めて教えていただきました。



利尻島でウニ漁を体験

礼文町でマスコット「あつもん」と

ウポポイ開業3周年記念

白老町

アイヌ文化の復興と発展の拠点である民族共生象徴空間「ウポポイ」が7月、開業3周年を迎えました。記念セレモニーには、岡田直樹内閣府特命担当大臣、北海道アイヌ協会の大川勝理事長、ウポポイPRアンバサダーで俳優の宇梶剛士さんにも駆けつけていただきました。

新型コロナウイルスの流行による開業の延期などの影響を受けましたが、6月末時点では国内外から87万人が来場。来場者の満足度は80%を超える高い評価をいただいています。コロナ対策の制限もなくなり、これから真の開業です。皆様、ウポポイをはじめ道内各地のアイヌ関連施設をぜひ訪れてみてください！



ウポポイ開業3周年記念式典であいさつ。岡田直樹大臣をご案内

食と自然にふれあう

鶴居村・弟子屈町・釧路市・標茶町

「なほみちカフェ」で8月に道東へお伺いしました。鶴居村では廃校を改装したクラフトビールの醸造所を訪問。弟子屈町では地域資源を生かしたイチゴ農園を見学し、釧路市では高度な技術が評価されている工場を視察しました。

また、各地を訪問しながら、釧路東高校の生徒の皆様が開発された「サーモンバーガー」を購入したほか、弟子屈町ではトレッキングも体験。標茶町ではノロッコ号に乗り、釧路湿原を間近に感じる事ができました。鉄道は日本の食を支え、北海道の大自然を満喫できる観光も支えています。私も鉄道利用をPRしていきます！



釧路市で高校生と記念撮影

標茶町でノロッコ号に乗車

地方の後押し、大きな力に

釧路市・帯広市

釧路市で8月、後援会や経済界の皆様と懇談しました。実現する会・釧路会の宮田昌利幹事長からは、「北海道を元気にしてもらうため、この地域からしっかりと知事を支えていく」とお言葉をいただきました。

また、帯広市でも後援会役員の皆様にお集まりいただきました。実現する会・十勝の有塚利宣会長からは、「十勝に来たときは、親戚の家に来たと思ってゆっくりくつろいでください」とねぎらいの言葉をちょうだいしました。

地方の後援会の皆様からの後押しを大きな力に変えていきます。



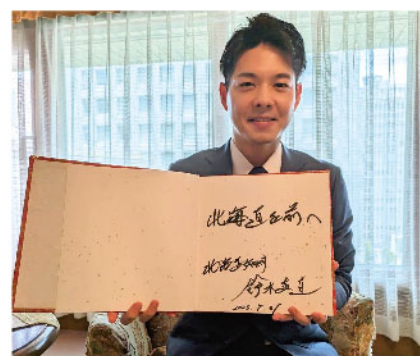
釧路市で後援会の皆様らと懇談

帯広市で後援会役員と懇談

TOPIC 1 日本記者クラブで会見

鈴木知事は7月に、日本記者クラブの会見に出席しました。日本記者クラブは新聞、テレビなど主要メディアで構成されており、国政選挙の際の党首討論のほか、米メジャーリーグの大谷翔平選手が招待されるなど、政治、経済、スポーツ、文化など幅広いゲストが年間200回近くの記者会見を行っています。

知事が会見に招かれたのは、夕張市長時代を含めて今回が3回目。会見では、「エネルギー」「デジタル」「食」の三つの分野における北海道の取り組みについて紹介。集まったジャーナリストからの質問に答えた上で、「いまこそ北海道のポテンシャルを発揮していく時代の転換期だ」と訴えました。



東京都・千代田区

TOPIC 2 オール北海道で、道全体の経済発展へ

鈴木知事は8月2日、TSMC(台湾積体電路製造)など多くの半導体関連企業が立地する熊本県を訪問。熊本県の蒲島郁夫知事と、半導体関連産業での連携強化に関する協定を締結し、「両地域の連携を一層密にし、交流拡大を図る」と強調しました。半導体関連事業の情報、人的交流の促進、国への要望などの取り組みを連携して実施することで、次世代半導体に挑む千歳市でのラピダス社のプロジェクトもさらに加速させていきます。

また、北海道をデジタルインフラの中核拠点として優先整備する考えを国が示したことなどを受け、道は7月に「デジタル関連産業の集積に向けた推進方向」を決定。今後、農林水産業や観光をはじめとする地域産業のデジタル化などを通じ、デジタルの好循環による効果を全道に波及させ、道内経済の活性化につなげていきます。



千歳市



熊本県